

特別支援学校アンケートとりまとめ

資料3

①障がい者に対する理解・周知・啓発

甲南高等養護学校	広報や研修会等いろんな媒体を使って一定、周知を図っていただいているが、現状、多くの市民が広く理解できているとは感じないので、その方法等について、目標数値を立て、より具体的に進めて行ってほしい。
滋賀大学附属特別支援学校	困ってる方が、自分から発信できないと支援を受けられない現状だと思います。発信できない方や家族を支援できる体制を考えていただきたい。
聾話学校	手話言語条例が制定されるなど、障がい者の権利を認知していこうという動きは、他の市町村への啓発にもなり、先進的でよいことなので、もっと広くしてもらえるように広報活動に力を入れてもらえるとありがたいです。
草津養護学校	学校として栗東市自立支援協議会とも連携させてもらう中で、行政や関係者とのつながりで連携をとれていると思います。校区の関係で草津養護学校の栗東市在住の児童・生徒数は限られていますが、卒業後の進路先等でお世話になっております。ありがとうございます。ただ、新規で生活介護・B型の事業所が参入されましたが、資源不足や栗東市ならではの福祉事業所・グループホームも更に地域にあればありがたいと思います。

②行政・団体・事業者・医療機関の連携

甲南高等養護学校	「連携が大切」と言葉では言っても、実際職種の垣根を越えて連携を図ることは、容易ではないので、例えば、年に数回、定期的な会議や研修会をもつ等、日々良い関係が作れるような仕組みが必要と考える。そのための具体的な計画があると良い。
野洲養護学校	担当者が代わった際の引継ぎをしっかりと行っておく必要があると感じます。
草津養護学校	個別の対応になりますが、連携ができていると感じます。何年後かの「重症心身障がい者施設かなえ」の次の施設は栗東市で。その際には土地の地権者（土地の誘致）、地域住民への説明も行政主体で行ってもらうことでスムーズな運営になるのでは。運営法人との連携や医療機関などとの連携は密にしてほしいです。

③健康管理や医療

甲南高等養護学校	コロナ対策に関して、一般の人は当たり前のように、うがいや手洗い、マスク等出来ても、障がいがあるが故に、感覚過敏等その特性によりコロナウイルス感染拡大防止対策が十分でない現状がある。障がいのある方の感染対応と感染した時の医療の対応として、わかりやすくフローチャートにして示してほしい。その際の通所施設やサービス事業所職員をサポート出来る仕組みも求められる。
野洲養護学校	医療的ケアが必要な児童、生徒の通学保障（保護者支援）として、本年度より県が本格実施を始められました。栗東市にも対象になる児童がおります。栗東市としても積極的な実施に向けてご協力をお願いいたします。

④日常生活への支援（金銭的な支援を含む）

甲南高等養護学校	コロナ禍で事業所、作業所等の仕事も収益も減り、利用者、経営ともにこれまで以上に厳しくなっている。Withコロナを考えると、この状況は簡単には変わらないので、長期的な支援が必要と考える。市として、金銭的な支援を含め、障害福祉計画の中で継続的な支援政策をお願いしたい。
滋賀大学附属特別支援学校	生活訓練ができる場があればありがたいです。ショートステイの体験利用で、自立生活に向けた取り組みとして東近江圏域に「みんなの家」というものがあります。
野洲養護学校	養護学校卒業後の生活を考えた時に、日中一時支援を希望する保護者が多いものの、対応している事業所や対応日数が不足していると感じます。
聾話学校	卒業後の生活の場がなく、市外の施設を利用せざるを得ない状況なので、入所施設やグループホームなどの増設をお願いしたいです。
草津養護学校	グループホーム等の生活基盤を支える施設や支える人たちの雇用促進や手当が充実しているとありがたいと思います。

⑤就労支援（福祉施設就労を含む）

甲南高等養護学校	就労定着に向けて、支援する機関の数が少ないので、定着支援できる機関や支援員を増やそう予算化してほしい。
盲学校	B型、生活介護の事業所をもっと増やして、養護学校卒業後の進路先を充実してもらえると、ありがたいです。
野洲養護学校	・養護学校卒業者数に対して、生活介護事業所が不足していると感じます、特にいわゆる強度行動障がいのある方や強いこだわりのある方を受け止めてくれる事業所が不足していると感じます。緊急の課題だと思います。 ・発達障がいや精神障がいを併せ有する方の就労支援について、相談できる場や訪問も含めて積極的に支援して頂ける機関があるとありがたいです。
聾話学校	就労移行支援事業所が少なく感じます。また、移行支援後の就労がすすむよう、行政として支援をお願いしたいです。
草津養護学校	栗東管内の企業への障がい者雇用の促進はどうなっていますか。近隣居住地から栗東市内の企業等に就労を考えた時に雇用して頂いたところもありますが、まだまだ障がい者雇用の理解が不十分と印象を受けます。本校生徒と出会ってもらい、実習等で雇用が開けているところがありますが、行政や職安からの働きかけで、できる仕事や仕事の切り出しやマッチングを促進する窓口を。現場実習や体験する機関を企業が設定できるような支援や補助、または雇用促進費とかの予算計上があれば。

⑥障がい児の療育

聾話学校	聾話学校として、聴覚障がい児対象（受け入れ可能）な放課後デイができるとうれしいです。スクールバスがなく、特に低学年は保護者送迎の生徒ばかりなので、学校と連携した放課後デイの設置が望まれます。
草津養護学校	放課後デイサービスも利用させてもらうことが多いので助かっています。そのような事業所が、日中一時や生活介護事業所や就労への事業所を設立させてもらえると助かります。家賃補助や土地の優遇、運営団体への支援があれば18歳で切れない支援と生涯の活躍の場が確保されると安心だと考えます。

⑦障がい児への教育（インクルーシブ教育など）

甲南高等養護学校	居住地校交流等、地域の学校に対する保護者のニーズは高く、特別支援学校と市内の学校とを繋がりやすくするため、行政としての支援があると有り難い。
野洲養護学校	「特別支援学校」と答申の出た多くの小中学校生を地域で対応して頂いています。小中学校在学中においても連携しながらよりよい教育、就学につなげていきたいと考えます。
聾話学校	本校小学部は、近隣の小学校と定期的に交流活動をしており、良い関係が築けています。中学部はほとんどできていない状況なので、地域の中学校との交流ができると良いと思います。学校間だけの取り組みではなく、市教育委員会からの働きかけが必要かと思われます。
草津養護学校	地域の通級・支援学級は学校としては地域支援コーディネーターと連携ができていると思います。小学校での地域交流などの受け入れもあり助かります。障がいの特性や発達障がい傾向のある児童は、行政が情報共有をしっかりとできているとうれしいです。特に住民の増えている地域等では、困っている人や障がいのある人も増える可能性もあり行政が情報や実態の把握と教育保障がなされるように努めて頂きたい。

⑧当事者の親への支援・相談

草津養護学校	まずは行政の窓口だと思いますが、相談事業所が増えてもらう事でより家庭の支援や具体的な相談ができると思います、相談員の拡充と相談事業所を増やしてください。
--------	--

⑨文化活動やスポーツへの参画

甲南高等養護学校	他市にある「なかよし交流館」「ほほえみクラブ」等のように障がいのある方が気軽に利用しやすい、スポーツ行事や教室、イベントを企画、運営できる組織があると良い。
----------	--

⑩相談支援・情報提供

甲南高等養護学校	・相談支援機関の数が少なすぎて、計画相談等、タイムリーに作ってもらえない現状があるので、行政からの働きかけや金銭的な支援等福祉計画に盛り込んでほしい。 ・支援度の高いケースでありながら、計画相談が対応できないこともある。特に、これまで福祉サービスを利用してこなかった軽度の生徒が高等部卒業時にGHや通所施設を希望する際に問題となっている。
滋賀大学附属特別支援学校	就労定着のための相談支援を充実させて欲しいです。そのためには相談支援員一人当たりの負担を減らすために増員をお願いしたい。
野洲養護学校	・栗東市を拠点とする計画相談事業所が不足していると感じます。卒業後も継続した相談やサービス利用、関係機関との調整のためにも必要だと思います。 ・発達支援室の相談利用対象年齢が18歳までとなっていると思いますが、それ以降の相談先や相談の継続性について、課題があると思います。
草津養護学校	⑧と同じ。

⑪防災・防犯

甲南高等養護学校	自然災害が多い中、障がい児者の視点から、必要な災害対策が求められる。またコロナも併せて、新たな災害支援対策が今後必要となる。避難しても、一般の方と同じようには生活できにくい事情があることを考慮し、合理的配慮の視点から、こういった環境や物が必要なかを考えて行く必要がある。
滋賀大学附属特別支援学校	コロナ禍における有事の際のための、防災研修をしてもらいたいです。（以前受けたHAGの研修が良かったです。）
草津養護学校	難しい問題だと思いますので、マニュアルづくりを学校としても取り組んでいます。通学中のスクールバスでの災害時など地域の拠点についても行政と連携が必要だと感じています。

⑫その他

野洲養護学校	いわゆる行動障がいを持つ生徒が過ごせる生活の場が必要だと感じています（家庭で過ごすことが難しい方や、保護者が病気になった時など）。このようなケースに対応していただけのグループホームや入所の施設が必要だと感じています。
--------	--

新たに取り組みたいこと、取り組んでいかなければならないと考えていること

草津養護学校	学校として、新型コロナウイルス感染症の感染予防を行いつつ、実習等を事業所をお願いし進路先の模索を進めています。身の回りにある感染症ととらえ感染予防に努めています。従来の手続きを簡易にできることや意識改革が必要な所は進めていきたいと思います。
--------	--

普段の活動の中で、栗東市の障がい福祉やサービスが充実している、他のまちにはない良さがあると感じること

野洲養護学校	児童に対する支援については手厚く対応していただいていると感じます。とても感謝しています。
草津養護学校	幼少期から行政が関わってもらっているので安心できる仕組みだと思います。卒業時に相談事業所への振り分けや行政の対応もありがたいと感じています。